

公益社団法人日本化学会
第106春季年会 市民公開講座

日本化学会では、一般市民の方々を対象とする恒例の「市民公開講座」を企画しました。今回も私たちの生活に密接に関連した身近な話題を、専門の先生方にやさしくお話していただきます。どの先生もそれぞれの分野でご活躍の著名な先生方ですので、楽しんでいただける半日になると思います。奮ってご参加ください。

P R O G R A M

13:00-13:05 | 開会挨拶 東京大学 中山 哲

13:05-13:40 | 月と小惑星が拓く未来—宇宙資源開発の最前線

月や小惑星には多くの資源が眠っていることが近年の探査で明らかになってきました。そこで私たちは、東大に宇宙資源連携研究機構を立ち上げ、NASAやJAXA、民間企業などと連携しつつ、幅広い分野の専門家・事業者の皆さんと新たな取り組みを進めています。本講演では、これらの活動と今後の展望についてご紹介します。

東京大学 教授 宮本 英昭



13:45-14:20 | 「分子のカタチ、分子のウゴキ」を学び、探求し、社会に役立てる

化学の世界は分子でできています。だから、分子のカタチ、分子のウゴキを理解することは大事なのですが、ちょっとハードルが高そうにも思えます。本講演では、楽しく分子科学を学習するための新しいVRツール「VR-MD」をご紹介します。さらに分子を研究することがどのように社会に役立っているか、ご紹介いたします。

東京大学 特任教授/
分子科学研究所 客員教授 佐藤 宗太



14:25-15:00 | ヒトに似た材料で、医療を変える

構造明確なゲル群を用いた、精密ゲル科学を推進してきた。近年では、さらに歩を進め、ゲルの持つネットワーク性やソフトマターとしてのふるまいに着目し、ゲルを抽象化することで、異分野との接合を目指している。本講演では、その最新のトピックスを紹介する。

東京大学 教授 酒井 崇匡



15:05-15:40 | 『一家に1枚周期表』にみる、わが国の科学技術の底力

20周年を迎えた「一家に1枚周期表」(当日、プレゼント)を手、「元素発見」「元素合成」「元素活用」「元素資源」「元素科学」「元素戦略」のキーワードの下、わが国の科学技術の底力に焦点を当てつつ、有限な元素資源問題は次世代に託されていることを強調したい。

京都大学 名誉教授/
理化学研究所 名誉研究員 玉尾 皓平



<https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/cs106th/content/shimin>

広がる
ひらく
未来化学

2026
3.20 FRI
13:00-15:40

ハイブリッド開催 参加費無料

現地会場 日本大学
船橋キャンパス
13号館1325教室

アクセス 東葉高速鉄道
「船橋日大前」駅西口 下車
正門まで徒歩1分
(東京メトロ東西線乗り入れ)

オンライン Zoom
主催 公益社団法人 日本化学会
第106春季年会 実行委員会
共催 日本大学 理工学部
後援 船橋市教育委員会
八千代市教育委員会

お申込みはコチラから

春季年会HPより
お申込みください。

